

夜の女たち (1948)

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 B&W
時間 73分
初公開日 1948/05/26

【解説】
「わが青春に悔いなし」の久板栄二郎による原作を、依田義賢が脚色し溝口健二が監督し映画化。戦争で夫を失った女たちが戦後を生き抜く姿を描いた。主人公の戦争未亡人を田中絹代が熱演。
敗戦後の大阪。結核で息子を失った大和田房子のもとに、夫の訃報がもたらされる。房子は会社社長の栗山の秘書となった。房子の実の妹の夏子はダンサーをしながら房子を捜しており、二人は偶然心斎橋で再会。夏子は房子のアパートで暮らすことになった。房子は栗山に身を任せていたが、ある日、栗山と夏子の関係に気づく。房子は男に復讐するため、アパートを出て売春婦になった。房子を捜すため心斎橋近辺を歩いていた夏子は、売春婦と間違われ警察に検挙されてしまう。

【クレジット】
監督 溝口健二
企画 絲屋寿雄
原作 久板栄二郎
脚色 依田義賢
撮影 杉山公平
美術 水谷浩
衣裳 中村ツマ
音楽 大沢寿人
演奏 中沢寿土とM・S・C楽団
助監督 酒井辰雄
岡田光雄
出演 田中絹代 大和田房子
高杉早苗 君島夏子
角田富江 大和田久美子
永田光男 栗山謙造
村田宏寿 病院長
浦辺条子 ポン引きのおばさん
大林梅子 房子の義母・徳子
毛利菊江 古着屋の女将
青山宏 不良学生・川北清
榎芙佐子 純血協会の婦人
玉島愛造 婦人ホームの院長
田中謙三 平田修一
加藤貫一 刑事甲
加藤秀夫 刑事乙

岡田和子	アパートのおばさん
西川寿美	闇の女・安子
林喜美子	闇の女・和子
滝川美津枝	闇の女・竹子
忍美代子	不良少女